

研究番号 2133号 承認日 2025年1月30日
研究実施予定期間 承認日～2025年12月31日

情報公開文書

1. 研究課題名	手術器械に係るアンケート調査	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある場合 には品名と一般名も記載)	器械操作の容易さ等手技の際の満足度について、選択型アンケートと ご意見等記載による「製品受領者の意見収集」を目的とした調査実施	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	田村 理 整形外科 副部長	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	田村 理 整形外科 副部長	
5. 研究の分類	〈侵襲性について〉 ☐ 侵襲を伴う研究 ☐ 軽微な侵襲を伴う研究 ☒ 侵襲を伴わない研究	〈共同研究の有無について〉 ☐ 多施設共同研究 ☒ 当院のみの研究 ☐ その他 ()
	〈介入について〉 ☐ 介入を伴う研究 ☒ 介入を伴わない研究 (観察研究)	〈インフォームド・コンセント (アセント) について〉 ☐ 必要 ☒ オプトアウト
	〈試料・情報の利用について〉 ☒ 新規 (取得試料・情報の利用) ☐ 既存 (取得試料・情報の利用) ☐ 既存 (残余検体の利用) 【保存年数】 ☒ 3年 (提供元の場合) ☐ 5年 (提供先の場合)	〈モニタリングと監査について〉 ☐ 必要 ・モニタリング実施者 () ・監査実施者 () ☒ 不要
	〈対応表の作成の有無について〉 ☐ あり (具体的な管理方法について:) ☒ なし	
6. 研究の対象及び 実施予定期間	・実施承認後 ～ 西暦 2025 年 3 月 31 日	
7. 問合せ先	【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町 10-31 診療科: 整形外科 担当者: (氏名) 武 靖浩 (職名) 副部長 連絡先: 06-6771-6051 (内線:) ※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者 さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究 対象としませんのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生 じることはありません。	

研究番号 1565 号 承認日 2022 年 7 月 4 日
 研究実施予定期間 承認日～2026 年 3 月 31 日

情報公開文書

1. 研究課題名	スポーツ外傷・障害に寄与する心理行動学的リスク要因の研究	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある場 合には品名と一般名も記載)	①スポーツ外傷・障害に寄与する心理学的特性、行動学的特性、動作学的特性を把握すること(後ろ向き症例対照研究)、および、②心理的・行動学的特性と将来のスポーツ外傷・障害発生の関連を検討すること(前向きコホート研究) Web アンケート方式で 1)スポーツ外傷・障害既往歴、2)Achievement Goal theory に基づく Ego/Task 指向性の評価(心理学的特性)、3)スポーツ外傷・障害発生時の行動パターン(行動学的特性)、4)受傷時のビデオ映像、を収集・解析する。加えて、重篤なスポーツ外傷・障害の経験がある対象者については zoom を用いてインタビューを行い、スポーツ外傷・障害発生時の状況等について詳細な聞き取り調査を行う。	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	中田研・大阪大学大学院医学系研究科健康スポーツ科学講座スポーツ医学教室・教授・大阪大学	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	武 靖浩 整形外科 副部長 第二大阪警察病院	
5. 研究の分類	〈侵襲性について〉 ☐ 侵襲を伴う研究 ☐ 軽微な侵襲を伴う研究 ☒ 侵襲を伴わない研究	〈共同研究の有無について〉 ☐ 多施設共同研究 ☒ 当院のみの研究 ☐ その他()
	〈介入について〉 ☐ 介入を伴う研究 ☒ 介入を伴わない研究(観察研究)	〈インフォームド・コンセント (アセント)について〉 ☐ 必要 ☒ 不要
	〈試料・情報の利用について〉 ☐ 新規(取得試料・情報の利用) ☐ 既存(取得試料・情報の利用) ☐ 既存(残余検体の利用) 【保存年数】 ☐ 3 年(提供元の場合) ☐ 5 年(提供先の場合)	〈モニタリングと監査について〉 ☐ 必要 ・モニタリング実施者 () ・監査実施者 () ☒ 不要
	〈対応表の作成の有無について〉 ☐ あり (具体的な管理方法について:) ☒ なし	
6. 研究の対象及び 実施予定期間	・実施承認後 ～ 西暦 2026 年 3 月 31 日	
7. 問合せ先	【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町 10-31 診療科: 整形外科 担当者: (氏名) 武 靖浩 (職名) 副部長 連絡先: 06-6771-6051 (内線:) ※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ	

	わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。
--	---

研究番号 1449号 承認日 2021年10月11日

研究実施予定期間 承認日～

情報公開文書

1. 研究課題名	エクシアヒップシステムの術後アライメント及び固定性と術後歩行状態についての観察研究	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある場合には品名と一般名も記載)	エクシアヒップシステムを使用して行った人工関節置換術の術前における大腿骨の骨形態と、術後における大腿骨ステムアライメントおよび固定性と術前術後歩行状態について調査する	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	藪田 健太郎 整形外科 医長	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	藪田 健太郎 整形外科 医長	
5. 研究の分類	〈侵襲性について〉 ☐ 侵襲を伴う研究 ☐ 軽微な侵襲を伴う研究 ☒ 侵襲を伴わない研究	〈共同研究の有無について〉 ☐ 多施設共同研究 ☒ 当院のみの研究 ☐ その他 ()
	〈介入について〉 ☐ 介入を伴う研究 ☒ 介入を伴わない研究 (観察研究)	〈インフォームド・コンセント (アセント) について〉 ☐ 必要 ☒ オプトアウト
	〈試料・情報の利用について〉 ☐ 新規 (取得試料・情報の利用) ☒ 既存 (取得試料・情報の利用) ☐ 既存 (残余検体の利用) 【保存年数】 ☐ 3年 (提供元の場合) ☒ 5年 (提供先の場合)	〈モニタリングと監査について〉 ☐ 必要 ・モニタリング実施者 () ・監査実施者 () ☒ 不要
	〈対応表の作成の有無について〉 ☐ あり (具体的な管理方法について:) ☒ なし	
6. 研究の対象及び 実施予定期間	・2020年4月1日 ～ 2021年3月31日に当院で人工骨頭置換術を行った方	
9. 問合せ先	【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町 10-31 診療科: 整形外科 担当者: (氏名) 藪田 健太郎 (職名) 副部長 連絡先: 06-6771-6051 (内線:) ※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。	

研究番号 1333 号 承認日 2021 年 3 月 1 日

研究実施予定期間 承認日～

情報公開文書

1. 研究課題名	脊椎手術におけるトラネキサム酸の術野投与による術後止血効果	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある場合 には品名と一般名も記載)	トラネキサム酸を閉創前に術野散布することで術後の出血量、ヘモグロビン値の変化について考察する	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	和田 英路 整形外科 部長 大阪警察病院	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	北口 和真 整形外科 副医長 第二警察病院	
5. 研究の分類	〈侵襲性について〉 ☐ 侵襲を伴う研究 ☒ 軽微な侵襲を伴う研究 ☐ 侵襲を伴わない研究	〈共同研究の有無について〉 ☐ 多施設共同研究 ☒ 当院のみの研究 ☒ その他 (本院での手術患者)
	〈介入について〉 ☒ 介入を伴う研究 ☐ 介入を伴わない研究 (観察研究)	〈インフォームド・コンセント (アセント) について〉 ☒ 必要 ☐ オプトアウト
	〈試料・情報の利用について〉 ☒ 新規 (取得試料・情報の利用) ☐ 既存 (取得試料・情報の利用) ☐ 既存 (残余検体の利用) 【保存年数】 ☐ 3 年 (提供元の場合) ☒ 5 年 (提供先の場合)	〈モニタリングと監査について〉 ☒ 必要 ・モニタリング実施者 (医師 看護師) ・監査実施者 () ☐ 不要
	〈対応表の作成の有無について〉 ☐ あり (具体的な管理方法について :) ☒ なし	
6. 研究の対象及び 実施予定期間	2021 年以降に脊椎手術を受けられた方 目標症例数 (50 症例) を達成するまで	
7. 問合せ先	【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町 10-31 診療科 : 整形外科 担当者 : (氏名) 北口 和真 (職名) 副医長 連絡先 : 06-6771-6051 (内線 :) ※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。	

研究番号 1249号 承認日 2020年9月18日

研究実施予定期間 承認日～2029年3月31日

情報公開文書

1. 研究課題名	日本整形外科学会症例レジストリー (JOANR) 構築に関する研究	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある 場合には品名と一般名も記 載)	本研究の目的は、運動器疾患の手術に関する大規模データベースの構築である。本研究で構築される 大規模データベースの名称は、日本整形外科学会症例レジストリー (Japanese Orthopaedic Association National Registry (JOANR)) である。	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	種市 洋 公益社団法人 日本整形外科学会	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	山崎 良二 整形外科 医長 大阪警察病院	
5. 研究の分類	〈侵襲性について〉 ☐ 侵襲を伴う研究 ☐ 軽微な侵襲を伴う研究 ☒ 侵襲を伴わない研究	〈共同研究の有無について〉 ☒ 多施設共同研究 ☐ 当院のみの研究 ☐ その他 ()
	〈介入について〉 ☐ 介入を伴う研究 ☒ 介入を伴わない研究 (観察研究)	〈インフォームド・コンセント (アセント) について〉 ☐ 必要 ☒ オプトアウト
	〈試料・情報の利用について〉 ☒ 新規 (取得試料・情報の利用) ☐ 既存 (取得試料・情報の利用) ☐ 既存 (残余検体の利用) 【保存年数】 ☐ 3年 (提供元の場合) ☒ 5年 (提供先の場合)	〈モニタリングと監査について〉 ☐ 必要 ・モニタリング実施者 () ・監査実施者 () ☒ 不要
	〈対応表の作成の有無について〉 ☒ あり (具体的な管理方法について:) ☐ なし	
6. 研究の対象及び 実施予定期間	・実施承認後 ～ 西暦 2029 年 3 月 31 日	
7. 研究分担者 氏名・所属・職・所属機関	山崎 良二 整形外科 医長 大阪警察病院	
8. 研究協力者と協力機関	公益社団法人日本整形外科学会 理事長 松 本 守 雄 日本整形外科学会症例レジストリー委員会 担当理事 種 市 洋 委員長 秋 山 治 彦	
9. 連絡先	公益社団法人 日本整形外科学会 〒113-8418 東京都文京区本郷 2-40-8 Tel. 03-3816-3671 Fax. 03-3818-2337 ※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。	

研究番号 803 号 承認日 2018 年 1 月 16 日

研究実施予定期間 承認日～

情報公開文書

1. 研究課題名	T-PAL System 使用成績調査	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある場 合には品名と一般名も記載)	本調査の目的は、日本国内における T-PAL System の市販後臨床使用実 態下における使用成績を収集し、T-PAL System の安全性及び有効性及 び今後日本人に適したサイズ、形状を評価する。	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	整形外科 副院長 林田賢治	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	整形外科 副部長 有賀健太	
5. 研究の分類	〈侵襲性について〉 ☐ 侵襲を伴う研究 ☐ 軽微な侵襲を伴う研究 ☒ 侵襲を伴わない研究	〈共同研究の有無について〉 ☐ 多施設共同研究 ☒ 当院のみの研究 ☐ その他 ()
	〈介入について〉 ☐ 介入を伴う研究 ☒ 介入を伴わない研究 (観察研究)	〈インフォームド・コンセント (アセント) について〉 ☐ 必要 ☒ オプトアウト
	〈試料・情報の利用について〉 ☒ 新規 (取得試料・情報の利用) ☐ 既存 (取得試料・情報の利用) ☐ 既存 (残余検体の利用) 【保存年数】 ☒ 3 年 (提供元の場合) ☐ 5 年 (提供先の場合)	〈モニタリングと監査について〉 ☐ 必要 ・モニタリング実施者 () ・監査実施者 () ☒ 不要
	〈対応表の作成の有無について〉 ☐ あり (具体的な管理方法について:) ☒ なし	
6. 問合せ先	【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町 10-31 診療科: <u>整形外科</u> 担当者: <u>(氏名) 有賀 健太</u> (職名) <u>副部長</u> 連絡先: 06-6771-6051 ※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者 さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究 対象としませんのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生 じることはありません。	

研究番号 662号 承認日 2017年1月31日

研究実施予定期間 承認日～手術終了まで

情報公開文書

1. 研究課題名	APTUS2.5の使用成績調査	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある 場合には品名と一般名も記 載)	本調査は APTUS2.5 の使用成績における下記事項について、情報の検出のため、疑問点や問題点を把握することを目的とする。 ・未知の不具合・感染症（患者への健康被害が重篤である場合） ・不具合・感染症の発現状況 ・安全性、有効性等に影響を与えると考えられる要因	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	林田 賢治 整形外科 副院長	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	野口 亮介 整形外科 医長	
5. 研究の分類	〈侵襲性について〉 ■侵襲を伴う研究 □軽微な侵襲を伴う研究 □侵襲を伴わない研究	〈共同研究の有無について〉 □多施設共同研究 ■当院のみの研究 ■その他（㈱エム・イー・システムとの委託研究）
	〈介入について〉 □介入を伴う研究 ■介入を伴わない研究（観察研究）	〈インフォームド・コンセント （アセント）について〉 □必要 ■オプトアウト
	〈試料・情報の利用について〉 ■新規（取得試料・情報の利用） □既存（取得試料・情報の利用） □既存（残余検体の利用） 【保存年数】 ■3年（提供元の場合） □5年（提供先の場合）	〈モニタリングと監査について〉 □必要 ・モニタリング実施者 （ ） ・監査実施者 （ ） ■不要
	〈対応表の作成の有無について〉 □あり（具体的な管理方法： ） ■なし	
6. 問合せ先	【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町 10-31 診療科：整形外科 担当者：（氏名）野口 亮介 （職名）医長 連絡先：06-6771-6051 ※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。	

研究番号 544号 承認日 2015年12月15日
 研究実施予定期間 承認日～登録制度終了まで

情報公開文書

1. 研究課題名	人工関節（股関節、膝関節、肩関節）登録制度	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 （研究に薬品や機器がある 場合には品名と一般名も記 載）	日本国内で行われている人工関節症例を登録し、将来（10～20年後）に行われる可能性のある再置換術の際の医療情報を提供できるように保存する。また、人工関節のデザインの優劣やインプラント固定法の選択の大規模調査の資料としても使用する。	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	秋山 治彦・日本人工関節登録制度運営委員会・委員・京都大学医学部	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	林田 賢治・整形外科・副院長・大阪警察病院	
5. 研究の分類	〈侵襲性について〉 ☐ 侵襲を伴う研究 ☐ 軽微な侵襲を伴う研究 ☒ 侵襲を伴わない研究	〈共同研究の有無について〉 ☒ 多施設共同研究 ☐ 当院のみの研究 ☐ その他（ ）
	〈介入について〉 ☐ 介入を伴う研究 ☒ 介入を伴わない研究（観察研究）	〈インフォームド・コンセント （アセント）について〉 ☒ 必要 ☐ オプトアウト
	〈試料・情報の利用について〉 ☒ 新規（取得試料・情報の利用） ☐ 既存（取得試料・情報の利用） ☐ 既存（残余検体の利用） 【保存年数】 ☒ 3年（提供元の場合） ☐ 5年（提供先の場合）	〈モニタリングと監査について〉 ☐ 必要 ・モニタリング実施者 （ ） ・監査実施者 （ ） ☒ 不要
	〈対応表の作成の有無について〉 ☐ あり（具体的な管理方法： ） ☒ なし	
6. 問合せ先	【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町 10-31 診療科：整形外科 担当者：（氏名）林田 賢治 （職名）副院長 連絡先：06-6771-6051 ※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。	